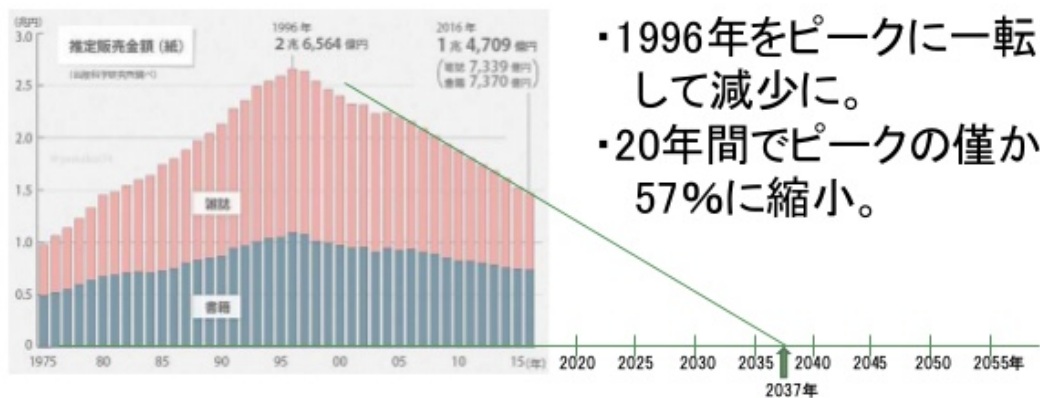


出版文化共済基金を設立

出版界では本が売れず、本屋も少なくなる一方です。インターネットに接続したパソコンが登場してから、日本の出版業は後退を続けて、紙の出版物の販売総額は最盛期の57%に縮小しました。

この傾向はスマホ時代の到来で加速度を加えており、「このままだと20年後、2037年には紙の本は消滅するかもしれない」と真顔で語られています。(グラフと分析は日本電子出版協会(JEPA)の金原俊会長の講演から)

紙の出版の状況



- ・1996年をピークに一転して減少に。
- ・20年間でピークの僅か57%に縮小。

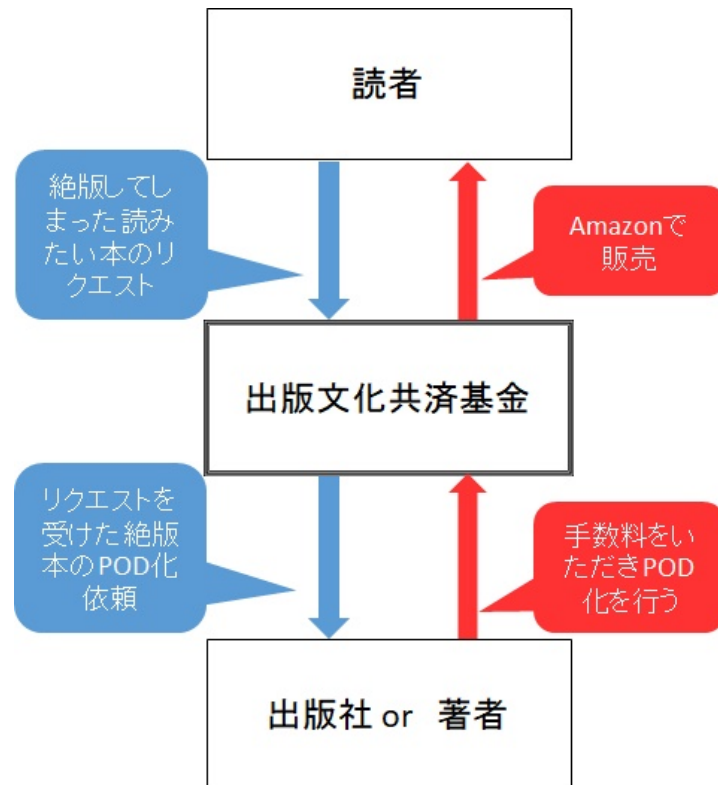
- ・このまま推移すれば20年後の2037年に紙は消滅？
- ・これまでに消失した売上げは1兆1,200億円。

4

日本語の文字による書籍は日本文化の根底を成す大切なものです。出版社が次々と倒産して大事な本が絶版になって消えていくのを手をこまねいて見ているわけにはゆきません。

インターネット時代の到来をかねてから予測してきた電子出版社 eブックランドは、日本の文化の土台の崩壊を食い止める狙いで「出版文化共済基金」を設立しました。

出版文化共済基金は、出版物の流通にデジタル技術を加味して、縮小する一途の日本の出版文化を再び活性化させようとする試みです。読者、図書館、著者、版元の出版社のみならず、みなさまにも参加していただいで運営されます。



読者のみなさまの役割： 読みたい本が絶版になっていることに気がいたら出版文化共済基金にお知らせください。基金では版元の出版社に連絡を取って、絶版本の著作権を譲り受け、アマゾンのPOD（プリント・オン・デマンド）出版で1冊から注文して紙の本が購入ができるように手配します。

出版社は印刷所のデジタルデータか、底本3冊を共済基金に送るだけで、eブックランドのISBN付で復刻ができます。

POD出版になりますと、ペーパーバックですが紙の本を入手して読むことができます。

公共図書館の役割： 読者から依頼があって収蔵したいと思った本が絶版になっていることが分かったら、同様に共済基金までご連絡ください。ペーパーバックの紙本の復刻版を宅配便でお届けします。

代金の決済はアマゾンのPOD出版の書誌情報のページでお願いいたします。復刻版は国立国会図書館に基金から納本いたします。

著者のみなさまの役割： 著者にしてみれば心血を注いで書き綴った自分の本を絶版にされることほど悲しいことはありません。そこで将来も紙の本で販売を続けたいとお考えの著者は出版文化共済基金にご相談ください。

版元の出版社に頼んで著作権をeブックランドに委譲する文面の書類を作成するとともに、印刷時のデジタルデータ、または当該の本の底本3冊を基金に送れば復刻版のプロセスが動き出します。

本が売れば著者は10%の印税を受け取ることができます。売れたかどうかは1ヶ月毎に共済基金に報告が入り、累積の売上が一定の水準に達したら翌月にはアマゾンから支払われます。販売報告は共済基金から少なくとも半年に2回、行われます。

出版社さまの役割とメリット：未曾有の出版不況は自費出版社、商業出版社を問わず全ての出版社を襲っています。このために本来ならば長く売りたい本も絶版にして断裁せざるを得ない。このようなときには出版文化共済基金に声をかけてください。わずかな手数料で、絶版にはなるが、共済基金の制度で紙本として販売を継続できることを、著者にお知らせすることができます。

まだ絶版には踏み切っていないけれども、売れ行きが鈍っている書籍についても先行き厳しさが増すであろうことを見越して、いまのうちから積極的に共済基金を利用することをお勧めいたします。

これによって出版社の在庫管理は劇的に改善されることでしょう。

復刊のコストについて：一旦、ISBNを付けて販売された本をPOD出版で復刻するにあたっては工夫が必要です。本は1冊1冊、版型もページ数もそれぞれ異なり、新しい版型を作るためには少々の編集コストがかかります。

これについては、出版社だけでなく、復刊をご希望の著者にもご負担いただかなければなりません。現時点で1点3万円+税を予定しております。

寄金について：日本語の書籍を守って日本文化の土台の地滑り的な崩壊を防ぐことはほとんど国策レベルの事業です。しかしながら言論の自由の観点から税金を使う助成は受けません。

大義に賛同の篤志家から出版文化共済基金に寄金が寄せられて予算が潤沢になれば、復刻にともなうコストを引き下げたり、なくすこともできます。

またアマゾンPOD出版の紙の本は、注文を受けてから1冊ずつ印刷して宅配するので、従来の取次制度で売られている書籍よりやや割高です。これについても基金に余裕があれば少しは販売価格を引き下げる余地があるので考慮しております。

ご高配のほど、宜しくお願い申し上げます。

eブックランド 社長 横山三四郎
東京都杉並区久我山 4-3-2 〒168-0082
Tel 080-5534-9763 Fax 03-3333-1384